

◆大ホール（2階）企画上映



映画プロデューサー 佐々木史朗

Shiro Sasaki: A Film Producer

2017年6月27日（火）－7月16日（日）

東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール（2階）

平素よりお世話になっております。

フィルムセンターでは、映画プロデューサーに焦点を当てる新たな上映企画として、「映画プロデューサー 佐々木史朗」を開催します。東京ビデオセンター社長として、1970年代にテレビ番組制作等を行っていた佐々木史朗（1939年生まれ、本名：佐々木^{まさみち}正路）は、1978年、橋浦方人監督の『星空のマリオネット』を製作・公開したことをきっかけに映画界に進出し、翌79年にはATG（日本アートシアター・ギルド）の二代目社長に就任、大森一樹や井筒和幸といった新進気鋭の映画監督たちの作品を次々とプロデュースし、日本映画に新たな波を起こします。その後もアルゴ・プロジェクトへの参加（1989年）を経てオフィス・シロウズを設立し（1993年）、中江裕司や李相日など才能ある若い映画作家の作品をプロデュースするなど、現在に至るまで活躍を続けています。その40年近いキャリアにおいて、佐々木は、衰退していく伝統的な撮影所システムに替わる、日本映画の新しい流れを切り拓いてきました。

本企画では、佐々木のプロデュース作品の中から、18人の監督が撮った18作品（18プログラム）を上映します。監督の個性が見事に花開いた各作品の面白さと共に、彼らを後押しする佐々木のプロデューサーとしての個性もご堪能いただくことができます。また、時代によるテーマや製作体制などの変遷からは、現代日本映画が歩んできた多様で困難な道のりが、改めて浮かび上がってくるでしょう。

会期中には、佐々木氏のトークイベントも開催予定です。この機会にぜひご周知いただけますようお願いいたします。

★佐々木史朗氏トークイベント * 入場無料 * 追加情報は随時、ホームページ等で告知します

7月1日（土）12：30pm の『家族ゲーム』上映終了後

7月8日（土）12：30pm の『ヒポクラテスたち』上映終了後

■開催概要

企画名：映画プロデューサー 佐々木史朗 Shiro Sasaki: A Film Producer

会期：2017年6月27日（火）－7月16日（日） * 月曜休館

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール（2階）

料金：一般 520円／高校・大学生・シニア 310円／小・中学生 100円／障害者（付添者は原則1名まで）、キャンパスメンバーズは無料
掲載用のお問い合わせ先：03-5777-8600（ハローダイヤル）

本企画ウェブサイト：http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/shiro_sasaki-2017-6/

★本企画の上映作品（映画タイトル右の役職は、各作品における佐々木史朗氏のクレジット）

1. 星空のマリオネット **（企画）** 1978年（東京ビデオセンター）（監）橋浦方人
2. ヒポクラテスたち **（製作）** 1980年（シネマハウト=ATG）（監）大森一樹
3. ガキ帝国 **（製作）** 1981年（プレイガイドジャーナル社=ATG）（監）井筒和幸
4. 遠雷 **（製作）** 1981年（につかつ撮影所=ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=ATG）（監）根岸吉太郎
5. 転校生 **（製作総指揮）** 1982年（日本テレビ放送網=ATG）（監）大林宣彦
6. TATTOO [刺青] あり **（製作）** 1982年（国際放映=高橋プロダクション=ATG）（監）高橋伴明
7. 家族ゲーム **（製作）** 1983年（につかつ撮影所=ニュー・センチュリー・プロデューサーズ=ATG）（監）森田芳光
8. 人魚伝説 **（製作）** 1984年（ディレクターズ・カンパニー=ATG）（監）池田敏春
9. 空がこんなに青いわけがない **（製作）** 1993年（オフィス・シロウズ=サントリー）（監）柄本明
10. 20世紀ノスタルジア **（企画）** 1997年（オフィス・シロウズ）（監）原将人
11. ナビイの恋 **（製作）** 1999年（イス・ビジョンズ=オフィス・シロウズ）（監）中江裕司
12. ごめん **（製作）** 2002年（「ごめん」製作事業委員会）（監）富樫森
13. カナリア **（製作）** 2005年（「カナリア」パートナーズ）（監）塩田明彦
14. SCRAP HEAVEN スクラップ・ヘブン **（企画）** 2005年（『スクラップ・ヘブン』パートナーズ）（監）李相日
15. 闇打つ心臓 HEART, BEATING in the DARK **（製作）** 2006年（「闇打つ心臓」パートナーズ）（監）長崎俊一
16. やじきた道中 てれすこ **（製作）** 2007年（「てれすこ」講中）（監）平山秀幸
17. キツツキと雨 **（企画）** 2012年（「キツツキと雨」製作委員会）（監）沖田修一
18. 岸辺の旅 **（製作）** 2015年（「岸辺の旅」製作委員会）（監）黒沢清



「空がこんなに青いわけがない」
©オフィス・シロウズ/サントリー



「20世紀ノスタルジア」
©Office Shirous



「ナビイの恋」
©1999オフィス・シロウズ/バンダイビジュアル



「ごめん」
©2002「ごめん」製作事業委員会



「カナリア」
©2004「カナリア」パートナーズ



「SCRAP HEAVEN スクラップ・ヘブン」
©2005『スクラップ・ヘブン』パートナーズ



「闇打つ心臓 HEART, BEATING in the DARK」
©2005「闇打つ心臓」パートナーズ



「やじきた道中 てれすこ」
©「てれすこ」講中

【本企画に関するお問い合わせ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 広報担当

電話：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 E-mail：nfc-pr@momat.go.jp 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6

佐々木史朗 プロデュース作品一覧

作成:富田美香、大澤浄、佐々木淳 作成協力:(株)オフィス・シロウズ

① 映画作品 ●太字は今特集上映作品

公開年月日	題名	製作	監督	クレジット
1975/2/14	青春歌歌 置けない日々	映映社同人	橋浦方人	(製)
1978/1/21	星空のマリオネット	東京ビデオセンター	橋浦方人	(企)
1979/12/15	もう頬づえはつかない	あんぐる=ATG	東陽一	ノンクレジット (製作)
1980/9/20	海潮音	シネマハウス=ATG	橋浦方人	(製)
1980/11/22	ヒボクラテスたち	シネマハウス=ATG	大森一樹	(製)
1980/12/20	ミスター・ミセス・ミス・ロンリー	市山パースル=ATG	神代辰巳	(製)
1981/7/4	ガキ帝国	プレイガイドジャーナル社=ATG	井筒和幸	(製)
1981/10/24	遠雷	ATG=につかつ撮影所=NCP	根岸吉太郎	(製)
1981/12/19	風の歌を聴け	シネマハウス=ATG	大森一樹	(製)
1981/12/19	近頃なぜかチャールストン	喜八プロ=ATG	岡本喜八	(製)
1982/4/17	転校生	日本テレビ放送網=ATG	大林宣彦	(総)
1982/6/5	九月の冗談クラブバンド	シネマハウス=ATG=プロダクション爆	長崎俊一	(製)
1982/6/5	TATTOO (刺青)あり	国際放映=ATG=高橋プロ	高橋伴明	(製)
1982/9/4	怪異談 生きてある小平次	磯田事務所=ATG	中川信夫	(製)
1982/10/9	キッドナップ・ブルース	パーススタジオ=ATG	浅井慎平	(製)
1983/6/4	家族ゲーム	につかつ撮影所=NCP=ATG	森田芳光	(製)
1983/12/21	鹿市	PSC=新日本制作=ATG	大林宣彦	(製)
1984/1/28	蜜月	シネマハウス=ATG	橋浦方人	(製)
1984/2/11	すかんびんウォーク	渡辺プロ=シネマハウス=NCP	大森一樹	(製)
1984/4/14	人魚伝説	ディレクターズ・カンパニー=ATG	池田敏春	(製)
1984/6/23	逆噴射家族	ディレクターズ・カンパニー=国際放映=ATG	石井聰互	(製)
1984/9/8	さらば箱舟	劇団ひまわり=人力飛行機舎=ATG	寺山修司	(製)
1985/2/9	ユー★ガッタ★チャンス	渡辺プロ=シネマハウス=NCP	大森一樹	(製)
1986/4/26	君は裸足の神を見たか	日本映画学校=ATG	金秀吉	(製)
1986/10/4	野ゆき山ゆき海へゆき	日本テレビ放送網=パップ=ATG	大林宣彦	(総)
1990/8/11	ボクが病気になる理由(わけ)	シネマハウス=サントリー	大森一樹 渡邊孝好	(製)
1993/2/20	空がこんなに青いわけがない	オフィス・シロウズ=サントリー	柄本明	(製)
1996/5/25	ロマンス	オフィス・シロウズ	長崎俊一	(製)
1997/7/26	20世紀ノスタルジア	オフィス・シロウズ	原将人	(企)
1998/10/24	ヒロイン!	関西テレビ放送=オフィス・シロウズ	三原光尋	(製)
1999/12/4	ナビィの恋	イエス・ビジョンズ=オフィス・シロウズ	中江裕司	(製)
2002/2/2	コンセント	BS-i=アミューズピクチャーズ=JHV=オフィス・シロウズ	中原俊	(企)
2002/7/6	笑う蛙	パップ=衛星劇場=JHV=博報堂=日本出版販売=ワコー=オフィス・シロウズ	平山秀幸	(企)
2002/10/12	ごめん	読売テレビ=バンダイビジュアル=舞臺プロ=イエス・ビジョンズ=オフィス・シロウズ	富樫森	(製)
2003/6/14	ホテル・ハイビスカス	イエス・ビジョンズ=バンダイビジュアル=読売テレビ=オフィス・シロウズ=読売テレビエンタープライズ	中江裕司	(企)
2003/7/19	白百合クラブ 東京へ行く	白百合プロジェクト	中江裕司	特別協力
2004/1/10	アンテナ	オフィス・シロウズ=ケングルーヴ	熊切和嘉	(製)
2005/3/12	カナリア	オフィス・シロウズ=衛星劇場=バンダイビジュアル	塩田明彦	(製)
2005/10/8	SCRAP HEAVEN スクラップ・ヘブン	オフィス・シロウズ=テレビ東京=バンダイビジュアル=イエス・ビジョンズ=サズウ	李相日	(企)
2006/3/11	ルート225	オフィス・シロウズ=衛星劇場=ハビネット=ピクチャーズ	中村義洋	(製)
2006/4/8	闇打つ心臓 HEART, BEATING in the DARK	オフィス・シロウズ=バンダイビジュアル	長崎俊一	(製)
2006/11/25	コワイ女	ミコット・エンド・バサラ=キングレコード=IMAGICA=東映チャンネル=オフィス・シロウズ	雨宮慶太 鈴木卓爾 豊島圭介	(製) ※オムニバス映画
2007/2/3	フリージア	小学館=東宝=バンダイビジュアル=ソニー・PCL=オフィス・シロウズ	熊切和嘉	(企)
2007/8/18	恋するマドリ	BALS=オフィス・シロウズ=バンダイビジュアル=テレビ朝日=幻冬舎=サニーサイドアップ=レプロ エンタテインメント	大九明子	(製)
2007/11/10	やしきた道中 てれすこ	オフィス・シロウズ=バンダイビジュアル=トータル=テレビ朝日サービス	平山秀幸	(製)
2008/7/12	The ショートフィルムズ みんな、はじめはコードモだった「タガタメ」	朝日放送	李相日	ノンクレジット(制作協力)※オムニバス映画の一篇
2009/7/25	真夏の夜の夢	オフィス・シロウズ=バンダイビジュアル=衛星劇場=シネカノン=クオラス=ワコー=琉球放送	中江裕司	(製)
2010/12/25	アブラクサスの祭	バンダイビジュアル=ピタース=エンド=福島民報社=福島テレビ=三春町観光協会=フロンティアワークス=オフィス・シロウズ	加藤直輝	(製)

公開年月日	題名	製作	監督	クレジット
2012/2/11	キツツキと雨	角川映画=オフィス・シロウズ=関西テレビ放送=衛星劇場=トライストーン・エンタテイメント=NTT DOCOMO=Yahoo!JAPAN=読売新聞社=パレード	沖田修一	(企)
2012/9/8	夢売るふたり	バンダイビジュアル=オフィス・シロウズ=読売テレビ=アスミックエース エンタテインメント=文藝春秋=電通=衛星劇場=パロッド=Yahoo!JAPAN=エネット	西川美和	(企)
2013/9/13	許されざる者	ワーナー・ブラザーズ	李相日	Coゼネラルプロデューサー
2015/10/1	岸辺の旅	アミューズ=WOWOW=ショウゲート=ポニーキャニオン=博報堂=オフィス・シロウズ	黒沢清	(製)
2016/4/9	モヒカン故郷に帰る	関西テレビ放送=バンダイビジュアル=ポニーキャニオン=アスミックエース=東京テアトル=テレビ新広島=オフィス・シロウズ	沖田修一	(企)
2016/11/19	雨にゆれる女	「雨にゆれる女」members	半野喜弘	協力
2017/4/22	PARKS パークス	本田プロモーションBAUS	瀬田なつき	ノンクレジット (制作協力)

② [ndjc:若手映画作家育成プロジェクト※]作品(役割はいずれもスーパーバイザー)

製作年	題名	監督
2008	BABIN	平林勇
2008	UFO食堂	山口智
2008	さよなら、ジョージ・アダムスキー	児玉和士
2008	直下型の女	タテイケンタ
2008	天国のバス	都司掛雅之
2009	くだん	吉井和之
2009	嘘つき女の明けない夜明け	熊谷まどか
2009	花になる	田中智章
2009	第三の肌	和島香太郎
2009	琥珀色のキラキラ	中野重太
2010	アンダーウェア アフェア	船手由貴子
2010	きみは僕の未来	浅野晋康
2010	そぼろごはん	遠山浩司
2010	ペダルの方行方	金井純一
2010	ホールイン・ワンダーランド	清水颯

※文化庁が若手映画作家を支援するために、2006年度よりVIPO(映像産業振興機構)に委託して行っているプロジェクト

③ TV作品

放映年月日	題名	製作	監督	クレジット
1994/2/6~2/7	予告編はほくららの夢の記憶 監督たちが語る日本映画の黄金期 第一部第二部	制作著作:NHK 制作:NHKクリエイティブ=東京ビデオセンター	井筒和幸	ノンクレジット (企画・取材)
1995/5/8	やっぱり映画が撮りたい! 1970年代からの映画監督たち	制作著作:NHK 共同制作:NHKエンタープライズ21=東京ビデオセンター	矢野広成	ノンクレジット (企画・取材)
1996/4/14	HOMECOMING	Merko Production= Showtime Networks	Mark Jean	(総)※海外TVムービー(日本未放映)
2001/1/2~1/3	柔らかな頬(前後篇)	BS-i=オフィス・シロウズ	長崎俊一	(制)※2001年7月14日にBOX東中野で上映
2001/3/30	最悪	BS-i=オフィス・シロウズ	大森一樹	ノンクレジット (企画)※2001年7月15日にBOX東中野で上映
2003/1/27	朗読紀行・につぼんの名作「戦艦大和ノ最期」	制作著作:NHK 共同制作:NHKエンタープライズ21=オフィス・シロウズ	根岸吉太郎	ノンクレジット (企画)
2003/1/29	朗読紀行・につぼんの名作「風の又三郎」	制作著作:NHK 共同制作:NHKエンタープライズ21=オフィス・シロウズ	黒沢清	ノンクレジット (企画)
2003/2/4	朗読紀行・につぼんの名作「おはん」	制作著作:NHK 共同制作:NHKエンタープライズ21=オフィス・シロウズ	松岡錠司	ノンクレジット (企画)
2003/8/1	朗読紀行・につぼんの名作「夢十夜」	制作著作:NHK 共同制作:NHKエンタープライズ21=オフィス・シロウズ	石井聰互	ノンクレジット (企画)
2008/10/19	天国のスープ	WOWOW	篠崎誠	ノンクレジット (制作協力)
2009/7/19	人間動物園	WOWOW	田中誠	ノンクレジット (制作協力)
2010/8/25	妖しき文豪怪談 鼻	制作著作:NHK 制作:NHKエンタープライズ	李相日	ノンクレジット (制作協力)
2016/1/10-2/7	撃てない警官	WOWOW=オフィス・シロウズ	長崎俊一	ノンクレジット(制作協力)※全5回の連続ドラマ

[凡例]作品中でクレジットされているものについてはその役割を下記の略記号によって、クレジットされていない作品については、佐々木史朗氏による確認の上、その役割を記した。

(製)=製作・プロデューサー (企)=企画 (総)=製作総指揮・エグゼクティブプロデューサー (制)=制作
 [主要参考資料]●日本映画データベース <http://www.jmdb.ne.jp/> ●KINENOTE <http://www.kinenote.com/main/public/home/> ●テレビドラマデータベース <http://www.tvdrama-db.com> ●東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵フィルム